



ユーザーガイド

© Copyright 2019 HP Development Company, L.P.

Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。DisplayPort™ および DisplayPort™ ロゴは、米国 Video Electronics Standards Association (VESA) が所有する米国およびその他の国における商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては、責任を負いかねますのでご了承ください。

製品についての注意事項

このガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いの製品では使用できない場合があります。最新版のユーザーガイドを確認するには、HP のサポート Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスし、説明に沿ってお使いの製品を探します。**[ユーザーガイド]**を選択します。

初版：2019 年 7 月

製品番号：L57244-291

このガイドについて

このガイドでは、モニターの特長、モニターの設置方法、ソフトウェアの使用方法、および技術仕様について説明します。

⚠ **警告！** 回避しなければ死亡または重傷に至る**可能性のある危険な状況**を示します。

⚠ **注意：** 回避しなければ軽度または中度の傷害に至る**可能性のある危険な状況**を示します。

📄 **重要：** 重要と考えられるものの、危険性に関わるとは見なされない情報を示します（本体の損傷に関する記載など）。この注意事項は、説明に沿って正しく操作しなければ、データの損失やハードウェアまたはソフトウェアの破損を引き起こす可能性があることをユーザーに警告します。また、概念を説明したり、タスクを完了したりするための重要な情報を示します。

📖 **注記：** 本文の重要なポイントを強調または補足する追加情報を示します。

💡 **ヒント：** タスクを完了させるために役立つヒントを示します。

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

この製品には HDMI（High-Definition Multimedia Interface）テクノロジーが搭載されています。

目次

1 お使いになる前に	1
安全に関する重要な情報	1
製品の特長および各部	2
特長	2
背面の各部	3
前面の各部	4
モニターの設定	5
モニター スタンドの取り付け	5
モニター本体の取り付け	6
モニター スタンドの取り外し	7
VESA 準拠のマウントキットの取り付け	8
ケーブルの接続	9
USB デバイスの接続	13
モニターの調整	14
モニターの電源投入	16
セキュリティ ロック ケーブルの取り付け	17
2 モニターの使用	18
ソフトウェアおよびユーティリティ	18
情報ファイル	18
Image Color Matching ファイル	18
オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの使用	19
機能ボタンの使用	20
機能ボタンの再割り当て	20
ブルー ライトの発光の調整 (一部の製品のみ)	20
自動スリープモードの使用	21
電源モード設定の変更	21
3 サポートおよびトラブルシューティング	22
一般的な問題の解決方法	22
ボタンのロックアウト	23
HP のサポート窓口へのお問い合わせ	23
お問い合わせになる前に	23
シリアル番号および製品番号の位置	23

4 モニターの保守	24
保守に関するガイドライン	24
モニターの清掃	24
モニターの運搬	25
付録 A 技術仕様	26
34 インチ（対角長 86.4 cm）モデルの仕様	26
プリセットディスプレイ解像度	27
34 インチ（対角長 86.4 cm）モデル	27
省電力機能	28
付録 B ユーザー サポート	29
HP とユーザー サポート	29
必要なテクノロジーツールの確認	29
HP の取り組み	29
IAAP（International Association of Accessibility Professionals）	30
最適な支援技術の確認	30
ご自身のニーズの評価	30
HP 製品のユーザー サポート	30
標準および法令	31
標準	31
Mandate 376 – EN 301 549（欧州連合同向け）	31
WCAG（Web Content Accessibility Guidelines）	31
法令および規制	32
ユーザー サポートに関する役立つリソースおよびリンク	32
組織（英語のみ）	32
教育機関（英語のみ）	33
障がいに関するその他のリソース（英語のみ）	33
HP のリンク	33
HP のサポート窓口へのお問い合わせ	33

1 お使いになる前に

安全に関する重要な情報

お使いのモニターには電源コードが付属しています。この製品を日本国内で使用する場合は、製品に付属している電源コードのみをお使いください。また、付属している電源コードは他の製品には使用できません。モニターに接続する適切な電源コードについて詳しくは、『Product Notices』（製品についての注意事項）を参照してください。このドキュメントは、ドキュメントキットに収録されています。

⚠ 警告！ 感電を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 電源コードは常に、装置の近くの手が届きやすい場所にある電源コンセントに接続してください。
- 安全に使用するため、必ず電源コードのアース端子を使用してアース（接地）してください。2ピンのアダプターを接続するなどして電源コードのアース端子を無効にしないでください。アース端子は、製品を安全に使用するための重要な装置です。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。モニターに接続するすべてのコードおよびケーブルについて、踏んだり、抜いたり、引っかかったり、人がつまずいたりしないように注意する必要があります。

操作する人の健康を損なわないようにするため、製品とともに提供されているユーザーガイドの中の『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をするときの正しい姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電気的/物理的安全基準についての情報も提供しています。このガイドは、HPのWebサイト、<http://www.hp.com/ergo/>（英語サイト）から[日本語]を選択することで表示できます。

📄 重要： モニターおよびコンピューターの損傷を防ぐために、コンピューターおよび周辺装置（モニター、プリンター、スキャナーなど）のすべての電源コードをマルチソケットや無停電電源装置（UPS）などのサージ防止機能のあるサージ保安器に接続してください。マルチソケットの種類によっては、サージに対応していない場合があります。サージ防止機能のあるマルチソケットを使用することをおすすめします。サージ防止に失敗した場合は機器を交換できるように、損傷交換ポリシーを提供している製造販売元のマルチソケットを使用してください。

お使いのモニターは、十分な大きさがあり丈夫で安定しているモニター設置用の台などに設置してください。

⚠ 警告！ 化粧だんす、本棚、棚、机、スピーカー、チェスト、またはカートなどの上にモニターを不用意に置いた場合、モニターが倒れて怪我をするおそれがあります。


📄 注記： この製品は、エンターテインメント目的に適しています。モニターを設置するときは、近くにある光源やその他の周辺光が原因で画面の乱反射が起きることのないよう、照明を調節した環境に設置するようにしてください。

製品の特長および各部


特長

このモニターの特長は、以下のとおりです。


- 3440×1440 以下の解像度をサポートする、34 インチ（対角長 86.4 cm）の表示画面領域。オリジナルの縦横比を保ったまま、最大のサイズまで自由にイメージを拡大することも可能です
- LED バックライト付きノングレアパネル
- さまざまな角度から鮮明に見ることができる画面表示
- 傾斜角度、画面の左右の向きおよび高さを調整可能
- モニター本体を固定器具に取り付ける場合に便利な取り外し可能なモニター スタンド
- DisplayPort™ビデオ入力（ケーブル付属）

 **注記：**ケーブルやアダプター（別売）が必要な場合があります

- HDMI（High-Definition Multimedia Interface）ビデオ入力

 **注記：**ケーブルやアダプター（別売）が必要な場合があります

- アップストリームポート（コンピューターに接続）×2（USB Type-C（USB 3.1）×1、USB Type-B（USB 3.0）×1）、およびダウンストリームポート（USB デバイスに接続）×4（USB Type-A×3、USB Type-C×1）を備えた USB ハブ
- モニターの USB ハブをコンピューターの USB ポートに接続するための USB ケーブルが付属
- プラグアンドプレイ機能（オペレーティングシステムでサポートされる場合）
- 別売のセキュリティロックケーブル用のスロットをモニターの背面に装備
- 簡単な設定で画面の最適化を可能にする、オンスクリーンディスプレイ（OSD）による画面調節機能（複数の言語に対応）
- モニターの設定を調整して、盗難防止機能を有効にする[HP Display Assistant]ソフトウェア
- すべてのデジタル入力での HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）によるコピー防止機能
- 低消費電力の環境要件に準拠した省電力機能

 **注記：**安全情報および規定に関する情報については、ドキュメントキットに収録されている『Product Notices』（製品についての注意事項）を参照してください。最新版のユーザーガイドを確認するには、HP のサポート Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスし、説明に沿ってお使いの製品を探します。【ユーザーガイド】を選択します。

背面の各部

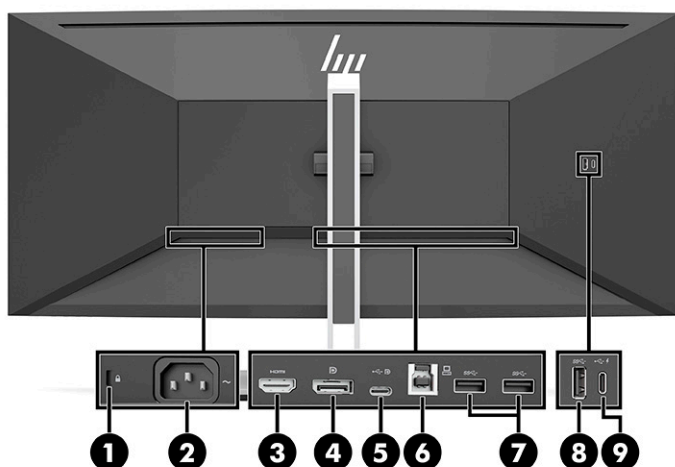


表 1-1 背面の各部

名称	機能
1 セキュリティロックケーブル用スロット	別売のセキュリティロックケーブルをモニターに接続します
2 電源コネクタ	電源コードを接続します
3 HDMI 入力端子	コンピューターなどの入力デバイスにモニターの HDMI ケーブルを接続します
4 DisplayPort	コンピューターなどの入力デバイスにモニターの DisplayPort ケーブルを接続します
5 USB Type-C ポート (アップストリーム)	コンピューターなどの入力デバイスにモニターの USB CM-CM ケーブルを接続します
6 USB Type-B ポート (アップストリーム)	コンピューターなどの入力デバイスにモニターの USB Type-B ケーブルを接続します
7 USB Type-A ポート (×2) (ダウンストリーム)	キーボード、マウス、USB ハードディスクドライブなどの周辺機器に USB ケーブルを接続し、データを転送します
8 USB Type-A ポート (ダウンストリーム)	キーボード、マウス、USB ハードディスクドライブなどの USB 周辺機器に USB ケーブルを接続し、データを転送します
9 USB Type-C ポート (15 W の充電機能付き) (ダウンストリーム)	USB 周辺機器に USB Type-C ケーブルを接続し、データ転送を行い、モニターがスリープモードのときでも、スマートフォンやタブレットなどのほとんどのデバイスを充電します

注記： ケーブルやアダプター (別売) が必要な場合があります

前面の各部

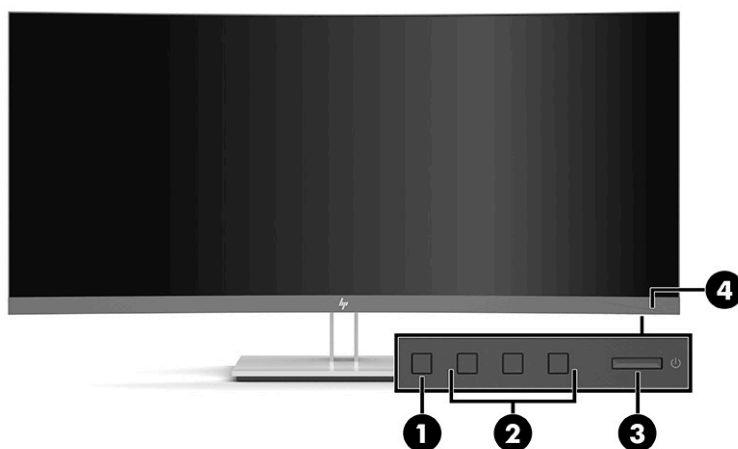


表 1-2 前面の各部

名称	機能
1 メニュー ボタン	ボタンを押すと、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開いたり、OSD のメニュー項目を選択したり、OSD メニューを閉じたりできます
2 機能ボタン	OSD メニューを操作するときに使用します。OSD メニューを開くと、それぞれのボタンの上に、操作に関するインジケータが表示されます 注記 : OSD メニューの機能ボタンを再設定して、頻繁に使用する操作をすばやく選択できます。詳しくは、 20 ページの機能ボタンの使用 を参照してください
3 電源ボタン	モニターの電源のオン/オフを切り替えます
4 電源ランプ	白色 : モニターがオンになっています オレンジ色 : 操作しない状態が続いたため、モニターが省電力状態になっています 21 ページの自動スリープモードの使用 を参照してください

モニターの設置

⚠ **警告！** 操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をするときの正しい姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。このガイドは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/ergo/>（英語サイト）から[日本語]を選択することで表示できます。

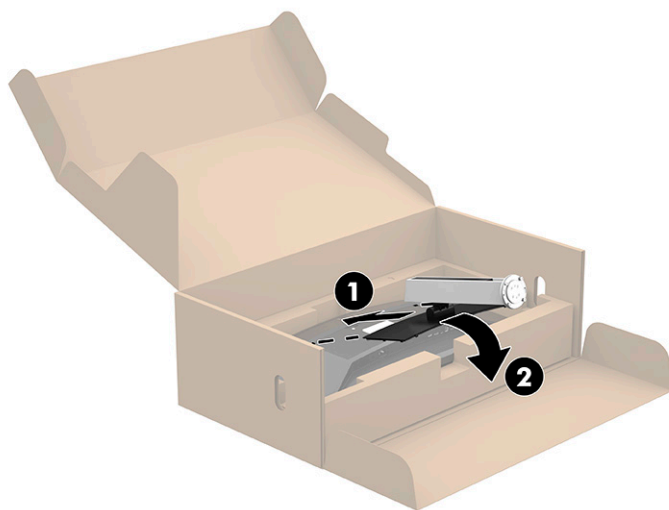
📌 **重要：** モニターの損傷を防止するため、LCD パネルの表面には触れないでください。パネル面への圧力によって、液晶に色むらや歪みが発生する場合があります。このような状態になった場合、画面を元に戻すことはできません。

重要： 画面を傷つけたり、汚したりすることや、コントロール ボタンを損傷したりすることを防止するために、モニターの前面を下向きにして、保護用のシートまたは研磨剤が入っていない布を敷いた、安定した平らな場所に置きます。

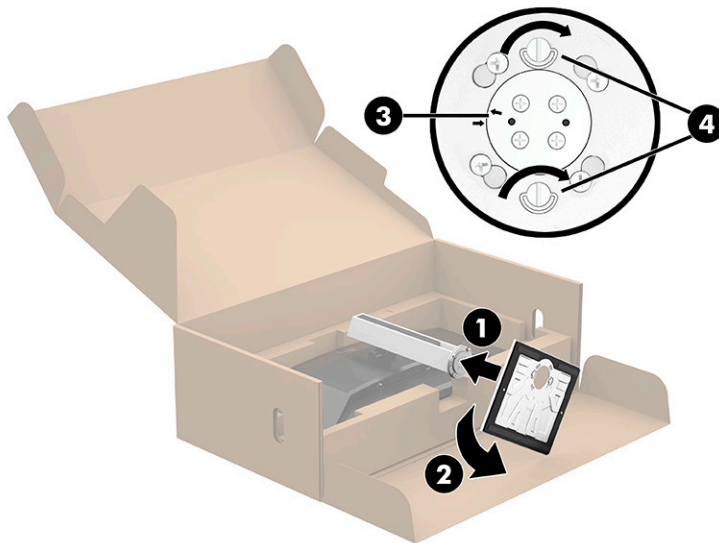
モニター スタンドの取り付け

💡 **ヒント：** モニターを設置するときは、近くにある光源やその他の周辺光がディスプレイ パネルの縁で反射するような向きにならないように配置してください。

1. 箱の中でモニターの前面が下向きになっている状態で、スタンドのマウントプレート下部をモニター背面のくぼみに挿入し (1)、カチッという音がするまで押し込みます (2)。




2. 箱の中で引き続きモニターの前面が下向きになっている状態で、以下の操作を行います。
 - a. モニター スタンドの下部に台座をはめ込みます (1)。
 - b. 台座を反時計回りに回転させて所定の位置に固定します (2)。
 - c. モニター スタンドの赤い矢印の位置が台座の裏面にある緑の矢印 (3) と合っていることを確認します。
 - d. 次に、2 本つまみネジ (4) を台座に差し込み、ネジを締めます。




モニター本体の取り付け

モニター本体は、壁、スイングアーム、またはその他の固定器具に取り付けることができます。

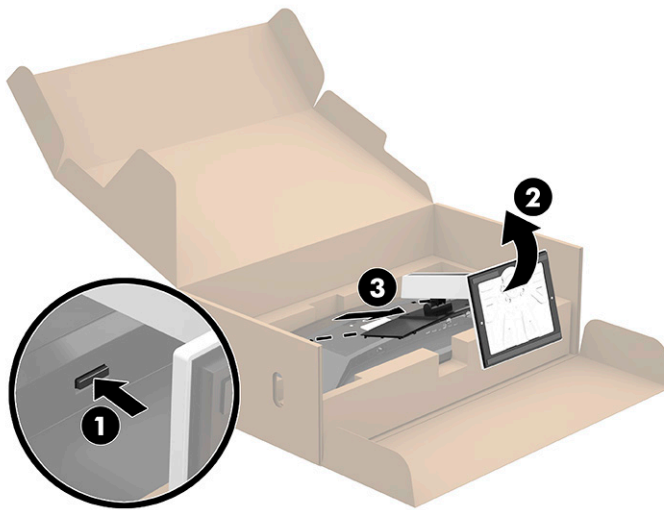
 **注記：**この装置は、GS および UL 準拠、または GS および CSA 準拠の壁へのマウントキットで支えられるように設計されています。

モニター スタンドの取り外し

モニター本体からスタンドを取り外して、モニター本体を壁掛け式にしたり、またはスイングアームやその他の固定器具を取り付けたりすることができます。

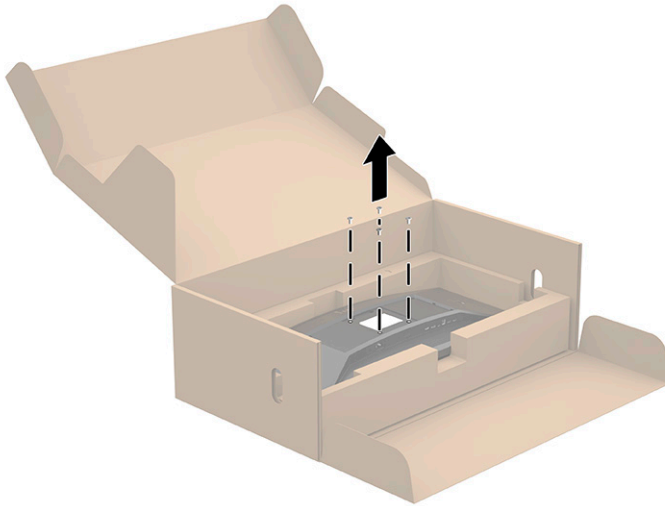
 **重要**：モニターを取り外す前に、モニターの電源が切られていること、およびすべてのケーブルを取り外してあることを確認してください。

1. モニターからすべてのケーブルを取り外します。
2. モニターの前面を下向きにして元の梱包箱の中に置きます。
3. モニター下部の中央近くにあるラッチ (1) を押し上げます。
4. スタンドの下部をまっすぐ持ち上げて (2)、マウントプレートに隠れていたパネルのくぼみが完全に見えるようにしてから、スタンドを持ち上げてモニター本体から取り外します (3)。

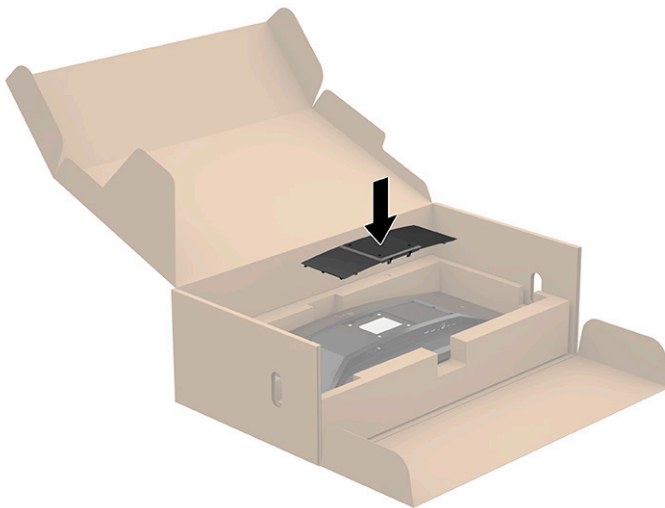


VESA 準拠のマウントキットの取り付け


1. モニター本体の背面にある VESA®準拠の取り付け穴から 4 本のネジを取り外します。

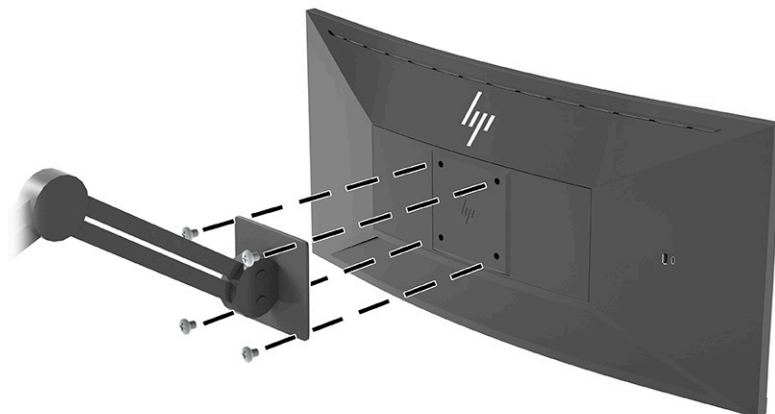


2. VESA 準拠のマウントキット（モニターに付属）をモニター本体の背面に取り付けます。VESA 準拠の補助器具の上部にある 4 つのタブをモニター背面の溝に合わせて、カチッという音がするまで VESA 準拠の補助器具を押し下げます。




3. VESA 準拠のマウントキットに付属の 4 本の VESA 準拠ネジを差し込んで、モニターを所定の壁またはスイングアームに取り付けます。

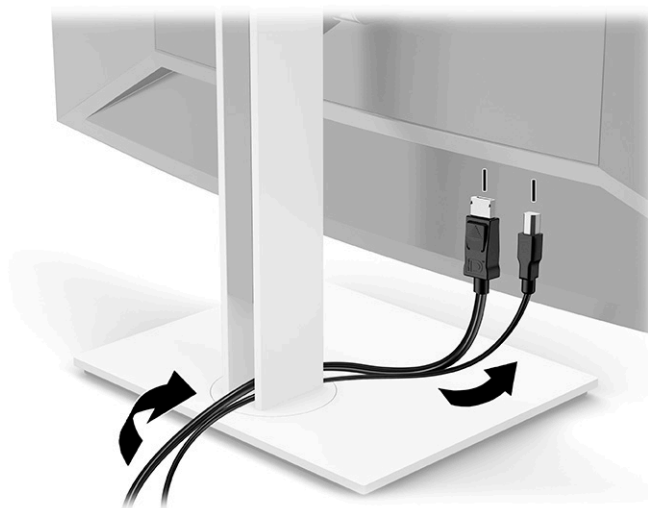
 **重要：**新しいマウントキットに付属している 4 本の新しい VESA 準拠ネジを使用してください。モニター本体の背面から取り外した 4 本の VESA 準拠ネジを再利用しないでください。これらのネジは、接続部の安全性を確保するには長さが足りません。




ケーブルの接続


 **注記：**モニターには一部のケーブルが付属しています。このセクションで示されているケーブルの中には、モニターに付属していないものもあります。

1. コンピューターの近くの作業がしやすく通気の良い場所にモニターを置きます。
2. ケーブルを接続する前に、ケーブルをスタンド中央のケーブル配線穴に通しておきます。

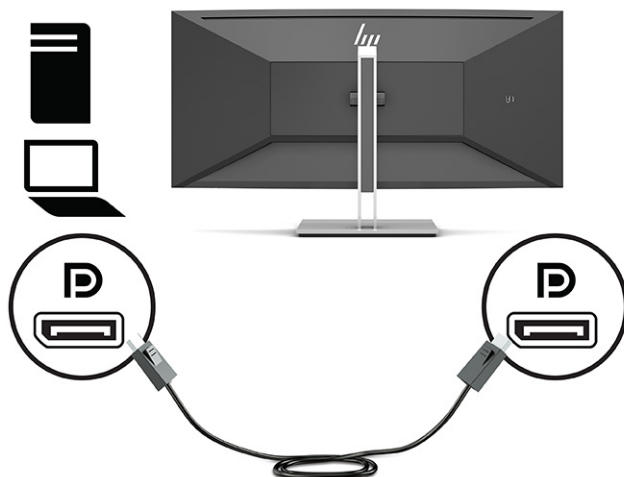


3. ビデオケーブルを接続します。

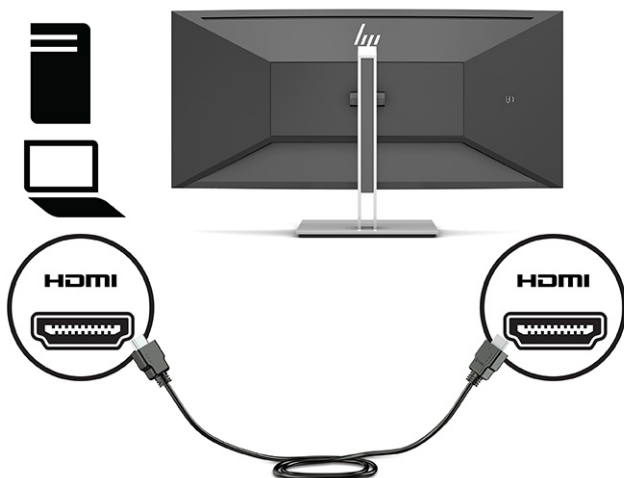
 **重要**：同時に複数のビデオケーブルを接続すると、動作に不具合が生じてモニターに画像が表示されなくなるおそれがあります。コンピューターとモニターを接続するときは、1種類のビデオケーブルで接続してください。別の方法に変更する場合は、使用しないケーブルを取り外してください。

 **注記**：入力系統から、有効なビデオ信号がモニター側で自動的に判別されます。手動でビデオ入力信号を選択するには、オンスクリーンディスプレイ（OSD）を開き、**【入力】**を選択します。


- DisplayPort ケーブルの一方の端をモニターの背面の DisplayPort に接続し、もう一方の端を入力デバイスの DisplayPort に接続します。

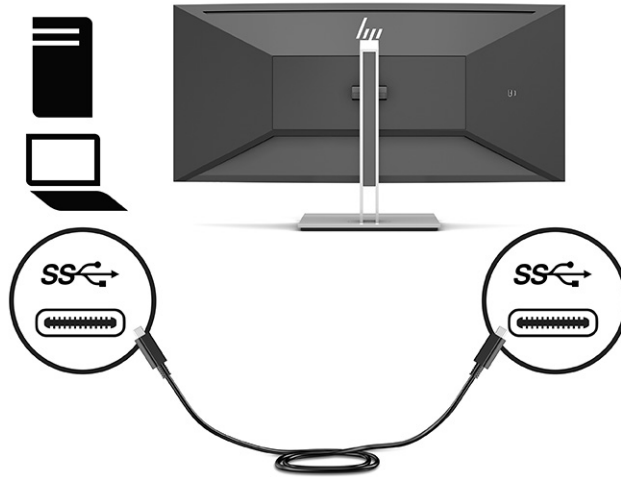


- HDMI ケーブルの一方の端をモニターの背面の HDMI 入力端子に接続し、もう一方の端を入力デバイスの HDMI 出力端子に接続します。




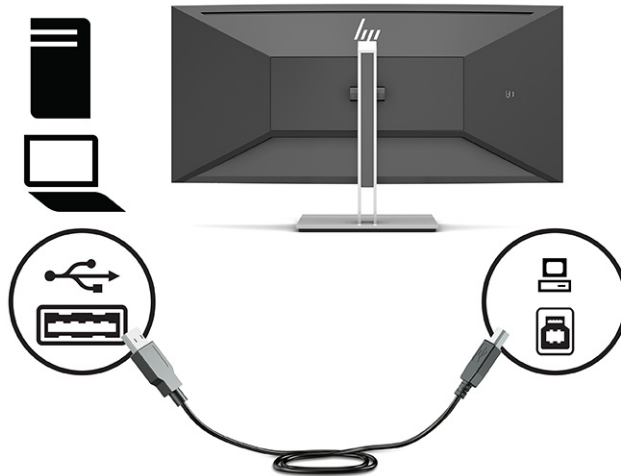
- USB CM-CM ケーブルをモニターの USB Type-C ポートに接続します。次に、Type-C コネクタを入力デバイスの USB ダウンストリーム ポートに接続します。

 **注記** : USB CM-CM ケーブルは、最大 15 W (5 V、3 A) の電源を供給します。



4. USB Type-B-Type-A ケーブルの一方の端をモニターの背面の USB Type-B ポートに接続し、もう一方の端を入力デバイスの USB ポートに接続します。

 **注記** : モニターの USB Type-A および USB Type-C ダウンストリーム ポートを有効にするには、USB Type-C アップストリーム ケーブルまたは USB Type-B アップストリーム ケーブルを入力デバイス（コンピューター）からモニターの背面に接続する必要があります。詳しくは、[13 ページの USB デバイスの接続](#)を参照してください。

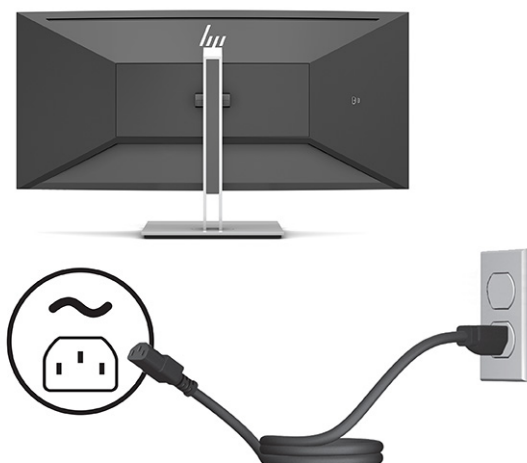


5. 電源コードの一方の端をモニターの背面の外部電源コネクタに接続して、もう一方の端をアース（接地）された電源コンセントに差し込みます。

⚠ 警告！ 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。


- 必ず電源コードのアース端子を使用してアースしてください。アース端子は、製品を安全に使用するための重要な装置です。
- 電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にあるアースされた電源コンセントに差し込んでください。
- 製品への外部電源の供給を完全に遮断して待機電力をカットするには、電源を切った後、電源コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っ掛けたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っばらないでください。電源コードを電源コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。



USB デバイスの接続

USB ポートには、デジタルカメラ、USB キーボードや USB マウスなどのデバイスを接続できます。モニターには USB ダウンストリーム ポートが 4 つあります。背面に USB Type-A ダウンストリームが 2 つと、後ろ側に USB Type-C ダウンストリームが 1 つおよび USB Type-A ダウンストリームが 1 つです。

 **注記**：モニターの USB Type-A および USB Type-C ダウンストリーム ポートを有効にするには、USB Type-C アップストリームケーブルまたは USB Type-B アップストリームケーブルを入力デバイス（コンピューター）からモニターの背面に接続する必要があります。

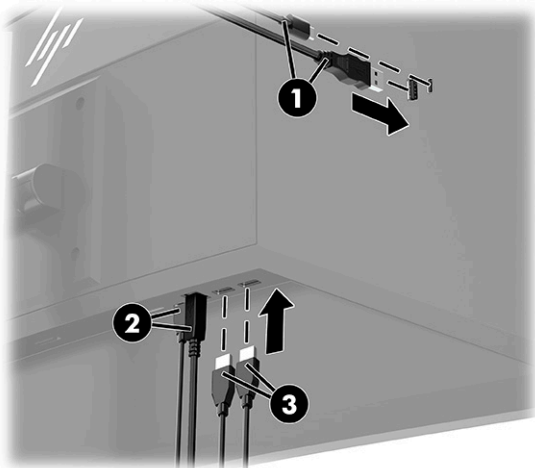


表 1-3 USB ポートの位置

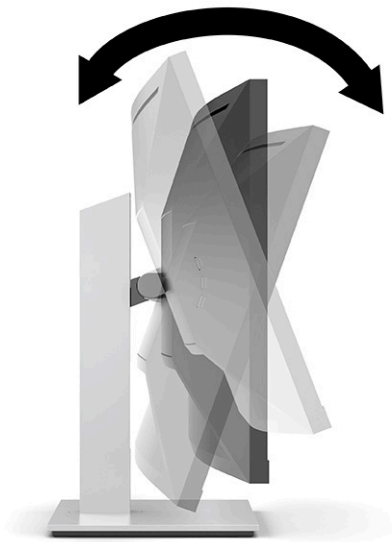
USB ポート	
(1)	USB Type-A および USB Type-C ダウンストリーム ポート
(2)	コンピューターからの USB Type-C または USB Type-B アップストリーム ポート
(3)	USB Type-A ダウンストリーム ポート

モニターの調整

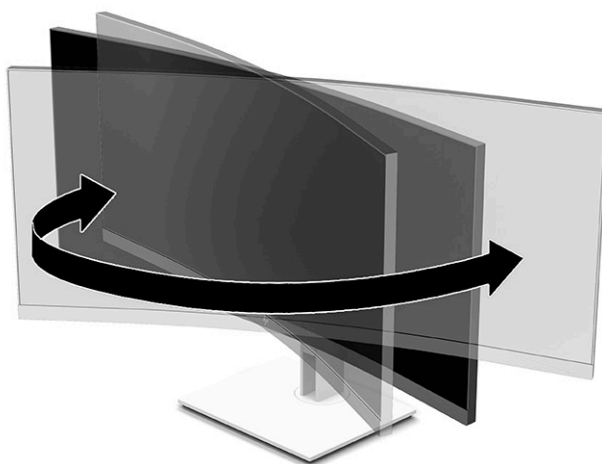
⚠ 警告！ 操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をするときの正しい姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。このガイドは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/ergo/>（英語サイト）から[日本語]を選択することで表示できます。

📖 注記： モニター画面の前面には触れないでください。傾斜角度、画面の左右の向き、および高さを調整するときは、モニター本体の背面の左側面および右側面に手を置き、必要に応じて調整します。

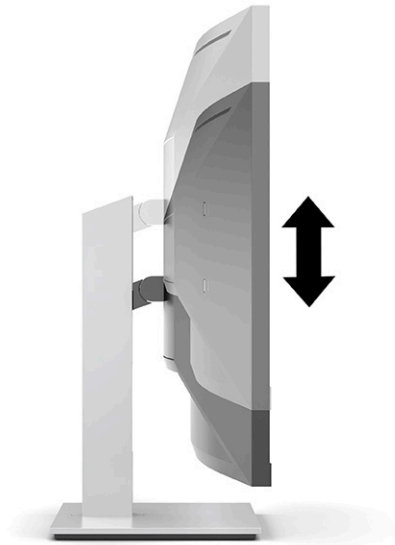
1. モニター本体を前または後ろに傾けて、見やすい位置に設定します。



2. モニター本体を左または右に回転させて、最適な表示角度に設定します。



3. モニターの高さを、作業環境に合った見やすい位置に調整します。モニターパネルの上端は、目の高さを超えないようにしてください。眼鏡やコンタクトレンズなどを使用している場合は、モニターの位置を低くし、傾ける方が作業しやすい場合があります。作業時の姿勢を調整した場合は、モニターの位置も必ず調整しなおしてください。



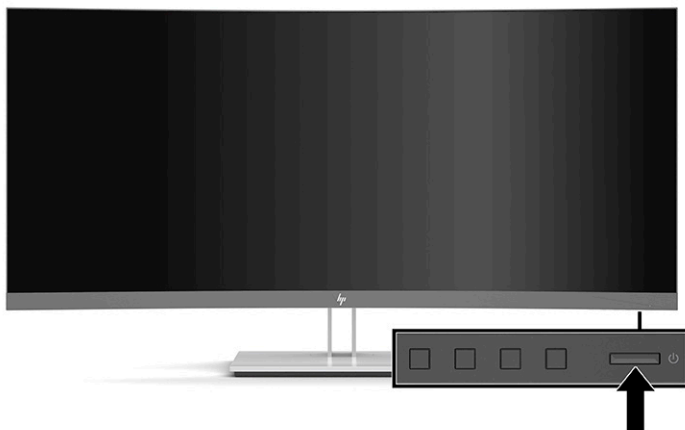
モニターの電源投入

重要：モニターの画面に 12 時間以上連続で同じ静止画像を表示したままにしておくと、残像が表示されることがあります。残像が表示されないようにするには、常にスクリーンセーバーアプリケーションを有効に設定しておくか、長時間モニターを使用しないときはモニターの電源を切ります。残像はすべての LCD 画面で発生する可能性があります。一定の時間が経過すると自然に消えます。モニター画面の「焼き付き」は、HP の保証の対象外です。

注記：電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンのロックアウト機能が有効になっている可能性があります。この機能を無効にするには、モニターの電源ボタンを 10 秒程度押し続けます。

注記：電源ランプはオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューで無効にできます。メニューボタンを押して OSD を開き、【電源】→【電源ランプ】→【オフ】の順に選択します。

1. コンピューターの電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。
2. モニター下部の電源ボタンを押して、モニターの電源を入れます。



モニターの電源が初めて入ると、モニターステータスメッセージが 5 秒間表示されます。このメッセージには、現在アクティブなビデオ入力信号、ソース自動切り替え設定のステータス (オンまたはオフ、初期設定はオン)、現在のプリセット画面解像度、および推奨されるプリセット画面解像度が示されます。

モニターは入力信号をスキャンしてアクティブな入力を検出し、その入力を使用して画面を表示します。

セキュリティ ロック ケーブルの取り付け

別売のセキュリティ ロック ケーブルを使用して、モニターを固定できます。



2 モニターの使用

ソフトウェアおよびユーティリティ

HP のサポート Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> から次のファイルをダウンロードしてインストールできます。

- INF（情報）ファイル
- ICM（Image Color Matching）ファイル
- [HP Display Assistant]：モニターの設定を調整して、盗難防止機能を有効にします

ファイルをダウンロードするには、以下の操作を行います。

1. HP のサポート Web サイト、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスします。
2. [ソフトウェアとドライバー]または[ソフトウェア/ドライバー]を選択します。
3. 製品の種類を選択します。
4. お使いの HP モニターのモデルを検索フィールドに入力し、画面の説明に沿って操作します。


情報ファイル

INF ファイルは、モニターとお使いのコンピューターのグラフィックスアダプターとの互換性を確保するために、Windows®オペレーティングシステムが使用するモニター リソースを定義します。

このモニターは Microsoft® Windows プラグアンドプレイ機能に対応しており、INF ファイルをインストールしなくても正常に動作します。モニターのプラグアンドプレイ機能を利用するには、コンピューターのグラフィックスカードが VESA DDC2 に準拠しており、モニターが直接グラフィックスカードに接続されている必要があります。BNC 分岐コネクタまたは分配バッファ/分配ボックスを通して接続されている場合、プラグアンドプレイ機能は利用できません。

Image Color Matching ファイル

ICM ファイルはグラフィックスプログラムとともに使用されるデータファイルで、モニターとプリンター間またはスキャナーとモニター間の色調を調整します。このファイルは、プロファイルをサポートするグラフィックスプログラムの実行時に有効になります。

 **注記：** .ICM のカラー プロファイルは、ICC（International Color Consortium）のプロファイル形式の仕様に基づいて記述されています。

オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューの使用

オンスクリーンディスプレイ（OSD）メニューを使用して、好みに応じて画面表示を調整します。モニターのフロントパネルにあるボタンを使用して OSD メニューにアクセスし、調整を行うことができます。

 **注記：** 初期設定を変更すると、電力消費量が増える場合があります。

OSD メニューにアクセスして調整するには、以下の操作を行います。

1. モニターの電源が入っていない場合は、電源ボタンを押してモニターの電源を入れます。
2. **メニュー** ボタンを押します。
3. 3つの機能ボタンを使用すると、メニュー項目の移動、選択、および調整を実行できます。オンスクリーン ボタンのラベルは、有効になっているメニューまたはサブメニューによって変わります。

以下の表に、OSD メイン メニューのメニュー項目を示します。

表 2-1 OSD メイン メニュー

メインメニュー	説明
輝度+	画面の輝度およびコントラストを調整します
色	画面の色を選択および調整します
イメージ	画像を調整します
入力	ビデオ入力信号を選択します
電源	電源設定を調整します
メニュー	OSD メニューおよび機能ボタンのコントロールを調整します
マネージメント	USB ホストや DDC/CI 設定を調整したり、すべての OSD メニュー設定を工場出荷時の初期設定に戻したりします
情報	モニターに関する重要な情報を選択/表示します
終了	OSD メニュー画面を終了します

機能ボタンの使用

3つの機能ボタンのどれかを押し、ボタンが有効になり、ボタンの上にアイコンが表示されます。工場出荷時の初期設定のボタンのアイコンおよび機能を以下の表に示します。

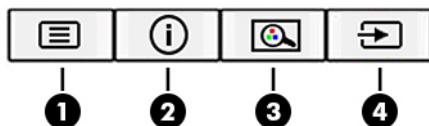


表 2-2 ボタン名および機能


ボタン	機能
1 メニュー ボタン	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メインメニューを開いたり、OSD のメニュー項目を選択したり、OSD メニューを閉じたりします
2 情報 ボタン (機能ボタン 3 : 割り当て可能)	情報 メニューが表示されます
3 表示モード ボタン (機能ボタン 2 : 割り当て可能)	表示モード メニューを開きます。見やすくなるようにモニター画面のライトを調整したり、プリセット表示モードを選択したりできます
4 次のアクティブな入力 ボタン (機能ボタン 1 : 割り当て可能)	モニターの入力ソースが次のアクティブな入力に切り替わります

機能ボタンの再割り当て

割り当て可能な機能ボタンを初期設定から変更し、ボタンが有効になったときに、頻繁に使用するメニュー項目にすばやくアクセスできるようにすることができます。**メニュー** ボタンは割り当てなおすことができません。

機能ボタンを割り当てなおすには、以下の操作を行います。

1. **メニュー** ボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開きます。
2. **[メニュー]**→**[ボタンの割り当て]**の順に選択し、割り当てるボタンで使用可能なオプションをどれか選択します。

 **注記** : OSD メニューのシミュレーションを、HP のカスタマーセルフリペアプログラムのサービスメディアライブラリー (HP Customer Self Repair Services Media Library、<http://www.hp.com/go/sml/>、英語サイト) から見ることもできます。お使いのディスプレイのモデルを選択し、[On Screen Display (OSD) simulator]を選択してください。

ブルーライトの発光の調整 (一部の製品のみ)

モニターのブルーライトの発光を減らすと、ブルーライトによる目の疲労が軽減されます。このモニターでは、ブルーライトの発光を減らして、画面上でコンテンツを読むときの刺激を低減する設定を選択できます。

モニターからのブルーライトの発光を調整するには、以下の操作を行います。

1. リアパネルにあるオンスクリーンディスプレイ (OSD) ボタンのどれかを押してボタンを有効にしてから、**メニュー** ボタンを押して OSD を開きます。**【色】**→**【表示モード】**の順に選択します。
2. 目的の設定を選択します。
 - **【低ブルーライト】** : (TUV 認証済み) ブルーライトを少なくして目の快適性を高めます。
 - **【夜間】** : ブルーライトの発光が最も少なくなるように調整して、睡眠への影響を軽減します。
 - **【読書】** : ブルーライトおよび輝度を室内表示用に最適化します。
3. **【保存して戻る】**を選択して設定を保存し、メニューを閉じます。設定を保存しない場合は、**【キャンセル】**を選択します。
4. メインメニューから、**【終了】**を選択します。

自動スリープモードの使用

このモニターは、自動スリープモードを設定することにより、モニターの省電力状態を有効または無効にできます。自動スリープモードの有効または無効は、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューで設定できます。自動スリープモードが有効になっている場合、水平同期信号または垂直同期信号が検出されないときにホストコンピューターから低電力モードの信号を受け取ると、モニターは省電力状態になります。自動スリープモードは、初期設定では有効になっています。

省電力状態 (スリープモード) になると、モニターの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。この状態のモニターの消費電力は 0.5 W 未満です。ホストデバイスからアクティブな信号を受け取ると (ユーザーがマウスやキーボードを操作した場合など)、モニターはスリープモードから復帰します。

自動スリープモードを無効にするには、以下の操作を行います。

1. **メニュー** ボタンを押して OSD を開きます。
2. OSD メニューで、**【電源】**→**【自動スリープモード】**→**【オフ】**の順に選択します。

電源モード設定の変更

国際的な電源に関する規格に適合させるため、スリープモードでのモニターの初期設定は省電力モードです。お使いのディスプレイがパフォーマンスモードに対応している場合、モニターが自動スリープモードのときに USB ポートを有効なままにしておくには、電源モード設定を**【省電力】**から**【パフォーマンス】**に変更します。

電源モード設定を変更するには、以下の操作を行います。

1. **メニュー** ボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開きます。
2. **【電源】**→**【電源モード】**→**【パフォーマンス】**の順に選択します。
3. **【保存】**を選択し、OSD を閉じます。

3 サポートおよびトラブルシューティング

一般的な問題の解決方法

以下の表に、発生する可能性のある問題、考えられる原因、および推奨する解決方法を示します。

表 3-1 一般的な問題および解決方法


問題	原因	解決方法
画面に何も表示されな いか、画像が点滅する	電源コードが外れている	電源コードを接続します
	モニターの電源が切れている	フロントパネルの電源ボタンを押します 注記： 電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンを 10 秒程度押し続けて、電源ボタンのロックアウト機能を無効にします
	ビデオケーブルが正しく接続されていない	ビデオケーブルを正しく接続します。詳しくは、 9 ページのケーブルの接続 を参照してください
	システムがスリープモードになっています	キーボードの任意のキーを押すかマウスを動かして、スリープモードを終了します
	ビデオカードに互換性がない	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開いて、 [入力コントロール] メニューを選択します。 [自動切替入力] を [オフ] に設定し、手動で入力を選択します
	複数のビデオケーブルを接続している	使用しないビデオケーブルを取り外します
画像がぼやけている、不 鮮明、または暗すぎる	輝度が低すぎる	OSD メニューを開いて [輝度] を選択し、必要に応じて輝度スケールを調整します
[Check Video Cable]と画 面に表示される	モニターのビデオケーブルが外れている	適切なビデオ信号ケーブルで、コンピューターとモニターを接続します。ビデオケーブルを接続するときにコンピューターの電源がオフになっていることを確認してください
[Input Signal Out of Range] というメッセージが画面に表示される	ビデオ解像度やリフレッシュレートが、モニターがサポートするレベルを超えるレベルに設定されている	サポートされている値に設定値を変更します。詳しくは、 27 ページのプリセットディスプレイ解像度 を参照してください
モニターの電源は切れるが、スリープモードには移行していないように見える	モニターの省電力機能が無効になっている	OSD メニューを開き、 [電力コントロール] → [自動スリープモード] の順に選択して、自動スリープを [オン] に設定します
[OSD Lockout] と画面に表示される	モニターの OSD ロックアウト機能が有効になっている	フロントパネルの メニュー ボタンを 10 秒程度押し続けて、OSD メニューのロックを解除します
[Power Button Lockout] と画面に表示される	モニターの電源ボタンのロックアウト機能が有効になっている	電源ボタンを 10 秒程度押し続けて、電源ボタンのロックを解除します


ボタンのロックアウト

電源ボタンまたはメニュー ボタンを 10 秒程度押し続けると、ボタンの機能がロックアウトされます。機能を復元するには、ボタンをもう一度 10 秒間押し続けます。この機能は、モニターの電源が入っていて、アクティブな信号が表示されており、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが開いていない場合にのみ使用できます。

HP のサポート窓口へのお問い合わせ

ハードウェアまたはソフトウェアの問題を解決するには、<https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスしてください。このサイトでは、トラブルシューティングの手順など、お使いの製品に関する詳細情報を確認できます。また、このサイトの[お問い合わせ一覧]から HP へのお問い合わせ方法を確認できます。なお、お使いのモデルにより提供されるサービスは異なります。

 **注記** : モニターの説明書、リファレンスガイド、およびドライバーは、<https://support.hp.com/jp-ja/> から入手できます。

 **注記** : モニターに付属している電源コード、外部電源アダプター (一部の製品のみ)、またはその他のケーブルを交換する場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせください。


お問い合わせになる前に

トラブルシューティングの項目やオンラインの技術サポートを参照しても問題が解決しない場合は、HP のサポート窓口も利用できます。HP のサポート窓口にお問い合わせになるときに、以下のような情報を事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合があります。

- モニターのモデル番号
- モニターのシリアル番号
- 購入年月日および購入店名
- 問題が発生したときの状況 (できるだけ具体的にお願いします)
- 表示されたエラー メッセージ
- ハードウェア構成
- 使用しているハードウェアおよびソフトウェアの名前とバージョン
- メールアドレス

シリアル番号および製品番号の位置

シリアル番号および製品番号は、モニター本体の底面にあるラベルに記載されています。お使いのモデルのモニターについて HP にお問い合わせになるときに、これらの番号が必要になる場合があります。

 **注記** : 場合によっては、ラベルを読むためにモニター本体をある程度回転させる必要があります。




4 モニターの保守

保守に関するガイドライン

モニターの性能を向上させ長く使用するために、以下のガイドラインを参考にしてください。


- モニターのキャビネットを開けたり自分で修理したりしないでください。このガイドに記載されている調整機能のみを使用してください。正常に動作しない場合や、モニターを落としたり破損したりした場合には、HP のサポート窓口にお問い合わせください。
- 外部電源は、モニター背面のラベルに記載された条件に適合するものを使用してください。
- 電源コンセントに接続する機器の定格電流の合計が電源コンセントの許容電流を、またコードに接続する機器の定格電流の合計がコードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流（AMPS または A）は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- モニターは、手が届きやすい場所にあるコンセントの近くに設置します。電源コードをコンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードの部分を引っばって抜かないでください。
- 使用していないときにはモニターの電源を切るようにして、スクリーンセーバー プログラムを使用してください。これにより、モニターの寿命が大幅に伸びる場合があります。

 **注記：** モニター画面の「焼き付き」は、HP の保証の対象外です。

- キャビネットのスロットや開口部をふさいだり、その中に異物を押し込んだりしないでください。これらの開口部によって通気が確保されます。
- モニターを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり、電源コードを足で踏んだりしないでください。
- モニターは通気のよい場所に設置し、過度の光熱や湿気にさらさないようにします。

モニターの清掃

1. モニターの電源を切り、電源コンセントから電源コードを抜き取ります。
2. すべての外付けデバイスを取り外します。
3. 清潔で柔らかい、静電気防止加工のされた布で画面およびキャビネットを拭いて、モニターからほこりを取り除きます。
4. 汚れが落ちにくい場合は、水とイソプロピルアルコールを 50 : 50 の割合で混合した溶液を使用します。


 **重要：** ベンゼン、シンナーおよびその他の揮発性の溶剤など、石油系の物質を含むクリーナーをモニター画面やキャビネットの清掃に使用しないでください。これらの化学物質を使用すると、モニターが損傷するおそれがあります。

重要： 布にクリーナーをスプレーし、湿らせた布を使用して画面をそっと拭きます。決して、クリーナーを画面に直接吹きかけないでください。クリーナーがベゼル裏側に入ってしまう、電子部品が損傷するおそれがあります。布はあまり濡らさず、軽く湿らせた状態で使用してください。通気孔またはその他の開口部に水が入ると、モニターの損傷の原因になる可能性があります。モニターは、使用する前に自然乾燥させます。

モニターの運搬

モニターを運搬する場合は、モニター出荷時の梱包箱および緩衝材、またはそれらと同等の部材を使用してしっかり梱包してください。

A 技術仕様

 **注記:** 以下の仕様はすべて、HP 製品の各コンポーネントの製造元から提供された標準的な仕様を表しています。このため、実際の動作時の数値とは異なる場合があります

この製品の最新の仕様またはその他の仕様について詳しくは、<http://www.hp.com/go/quickspecs/>（英語サイト）にアクセスして、該当するモニター モデルを検索し、モデル別の情報を参照してください。

34 インチ（対角長 86.4 cm）モデルの仕様

表 A-1 34 インチ（対角長 86.4 cm）モデルの仕様

仕様	測定値
ディスプレイ、ワイドスクリーン	86.4 cm
種類	SVA
表示可能画像サイズ	86.4 cm/34 インチ（対角方向）
最大質量（非梱包時）	11.0 kg
寸法（スタンドを含む）	
高さ（最も高い位置のとき）	54.2 cm
高さ（最も低い位置のとき）	39.2 cm
奥行き	22 cm
幅	80.9 cm
傾斜角度	-5 ~ 20 度
回転角度	30±1 度
環境条件 動作保証温度	
動作時温度	5 ~ 35°C
非動作時温度	-34 ~ 60°C
非動作時湿度	5 ~ 95%
電源	100 ~ 240 VAC、50/60 Hz
入力端子	HDMI 入力端子×1、DisplayPort×1、USB Type-C DisplayPort×1

プリセットディスプレイ解像度

以下のディスプレイ解像度はこのモニターで使用される最も標準的なもので、初期設定として設定されています。モニターによってこれらのプリセットモードが自動的に認識され、正しいサイズの画像が画面の中央に表示されます。

34 インチ（対角長 86.4 cm）モデル

表 A-2 プリセットディスプレイ解像度

プリセット	ピクセルフォーマット	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	640×480	31.469	59.940
2	640×480	37.500	75.000
3	720×400	31.469	70.087
4	800×600	37.879	60.317
5	800×600	46.875	75.000
6	1024×768	48.363	60.004
7	1024×768	60.023	75.029
8	1280×720	45.000	60.000
9	1280×800	49.702	59.810
10	1280×1024	63.981	60.020
11	1280×1024	79.976	75.025
12	1440×900	55.935	59.887
13	1600×900	60.000	60.000
14	1680×1050	65.290	59.954
15	1920×1080	67.500	60.000
16	1920×1200	74.556	59.885
17	1600×1200	75.000	60.000
18	2560×1080	66.000	60.000
19	2560×1440	88.787	59.951
20	3440×1440	43.819	30.000
21	3440×1440	88.819	59.973


表 A-3 プリセットタイミング解像度

プリセット	タイミング名	ピクセルフォーマット	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	480p	640×480	31.469	59.940
2	480p	720×480	31.469	59.940
3	576p	720×576	31.250	50.000
4	720p50	1280×720	37.500	50.000
5	720p60	1280×720	45.000	60.000
6	1080p50	1920×1080	56.250	50.000
7	1080p60	1920×1080	67.500	60.000
8	1600×1200p60	1600×1200	75.000	60.000
9	1900×1200p60	1920×1200	74.560	59.880
10	2560×1080p60	2560×1080	66.000	60.000
11	2560×1440p60	2560×1440	88.787	59.950
12	3440×1440p30	3440×1440	43.819	30.000

省電力機能

このモニターでは、省電力状態がサポートされます。水平同期信号または垂直同期信号が検出されない場合、モニターは省電力状態になります。このように信号が検出されない場合は、モニターの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。省電力状態時のモニターの消費電力は 0.5 W 未満です。短時間のウォームアップ後に通常の動作状態に戻ります。

省電力機能の設定の手順について詳しくは、コンピューターに付属の説明書を参照してください（省電力機能は、エネルギーセーブ機能、パワーマネジメント機能、節電機能など、説明書によって名称が異なる場合があります）。

 **注記：**上記のモニターの省電力機能は、省電力機能に対応するコンピューターに接続されている場合にのみ有効です。

モニターのエネルギーセーブユーティリティ内で設定値を選択すると、事前に決めた時刻にモニターが省電力状態になるように設定することもできます。モニターのエネルギーセーブユーティリティによってモニターが省電力状態になると、電源ランプはオレンジ色で点滅します。

B ユーザー サポート

HP とユーザー サポート

HP はダイバーシティ（人材の多様性）、インクルージョン（受容）、およびワーク ライフ バランスを会社を構成する基本と考えており、HP のあらゆる業務にこの考えが反映されています。HP は、世界中で人と技術力を結び付けることを重視した、すべての人が活躍できる環境作りを目指しています。

必要なテクノロジーツールの確認

テクノロジーは、人間の潜在能力を引き出すことができます。支援技術は、障壁を取り除き、自宅、職場、およびコミュニティでの自立を後押しするためのものです。支援技術によって電子技術や情報技術の機能を向上、維持、および改善できます。詳しくは、[30 ページの最適な支援技術の確認](#)を参照してください。

HP の取り組み

HP は、お身体の不自由な方にもご利用いただける製品やサービスを提供できるよう取り組んでいます。こうした取り組みは、会社の目標であるダイバーシティを実現し、あらゆる人が確実にテクノロジーを活用できるようにするために役立ちます。

ユーザー サポートにおける HP の目標は、単体で、または適切な補助ツールや支援技術と組み合わせることにより、お身体の不自由な方にも効果的にお使いいただけるような製品やサービスを設計、製造、販売することです。

目標達成のために、この HP ユーザー サポート ポリシーでは、HP の取り組みの指針となる 7 つの主要な目標が設定されています。HP のすべてのマネージャーおよび従業員は、自分の役割や責任に従ってこれらの目標とその実現をサポートするよう期待されます。

- 社内においてユーザー サポート問題への認識を高めて、お身体の不自由な方にもご利用いただける製品やサービスの設計、製造、販売、および配送に必要なトレーニングを従業員に提供します。
- 製品やサービスに関するユーザー サポートのガイドラインを作成し、製品開発グループに対しては、競争力、技術、および経済性の観点から実現可能な範囲でガイドラインに従う責任を課します。
- お身体の不自由な方に、ユーザー サポートのガイドラインの作成、および製品やサービスの設計およびテストに参加していただきます。
- ユーザー サポート機能を文書化し、HP の製品やサービスに関する情報を、お身体の不自由な方にもご利用いただける形で一般に公開します。
- 最先端の支援技術および支援ソリューションのプロバイダーとの関係を築きます。
- HP の製品やサービスに関連する支援技術を向上させる社内および社外での研究開発をサポートします。
- ユーザー サポートに関する業界の標準やガイドラインを支持し、それらに貢献します。

IAAP (International Association of Accessibility Professionals)

IAAP は、人の交流、教育、および認定を通じてユーザー サポートに関する専門職の発展を目指す非営利団体です。ユーザー サポートの専門家のキャリア形成やキャリア アップを支援したり、企業がユーザー サポートを自社の製品やインフラストラクチャに組み込むようにすることを目標としています。

設立メンバーとして、HP は他の企業と協力してユーザー サポートの分野を発展させるために加わりました。この取り組みは、お身体の不自由な方にも効果的にお使いいただける製品やサービスを設計、製造、販売するという HP のユーザー サポートの目標の達成を後押しします。

IAAP は、世界中の個人、学生、および組織を結び付け、お互いに学び合えるようにすることで、ユーザー サポート業務自体をも強めることにつながります。詳しい情報をお知りになりたい場合は、<http://www.accessibilityassociation.org/> (英語サイト) にアクセスして、オンライン コミュニティに参加したり、ニュースレターにサインアップしたり、メンバーシップの種類を確認したりしてください。

最適な支援技術の確認

お身体の不自由な方やご年配の方も含め、すべての人がテクノロジーを用いてコミュニケーションをとり、自己表現し、世界とつながりを持つようになるべきだと HP は考えます。HP は、社内だけでなく、お客様やパートナーとともに、ユーザー サポートに関する意識の向上に努めています。目にやさしい大きいフォント、両手を休ませることができる音声認識、特定の状況で役立つその他の支援技術など、さまざまな支援技術が HP 製品の操作性を向上するために利用されています。以下のセクションでは、支援技術や製品を選択する方法を説明します。

ご自身のニーズの評価

テクノロジーは、お客様の能力を引き出すことができます。支援技術は、障壁を取り除き、自宅、職場、およびコミュニティでの自立を後押しするためのものです。支援技術 (AT) によって電子技術や情報技術の機能を向上、維持、および改善できます。

お客様は多数の AT 製品から選択できます。AT の評価では、いくつかの製品を評価し、疑問点を解決し、状況に合った最善のソリューションを選択できるようにする必要があります。AT を評価する資格を持つ専門家の専門分野は多岐にわたり、理学療法、作業療法、音声言語病理学、およびその他の専門分野で免許や認定を取得した人が含まれます。ただし、認定や免許がなくても評価情報を提供できます。個人の経験、専門知識、および料金について尋ね、ご自身のニーズに合っているかを判断してください。

HP 製品のユーザー サポート

以下のリンクでは、各種の HP 製品に組み込まれているユーザー サポート機能および支援技術 (該当する場合) について説明しています。状況に最も適した支援技術の機能や製品を選択するために役立つリソースです。

- [HP Elite x3 - ユーザー補助オプション \(Windows 10 Mobile\) \(英語サイト\)](#)
- [HP PC - アクセシビリティ オプション \(Windows 7\)](#)
- [HP PC - Windows 8 アクセシビリティ オプション](#)
- [HP パソコン - Windows 10 のアクセシビリティ オプション](#)
- [HP 7、Slate 7 タブレット - HP タブレット \(Android 4.1/Jelly Bean 搭載\) でのユーザー補助機能の有効化](#)
- [HP SlateBook PC - ユーザー補助機能を有効にする \(Android 4.2、4.3/Jelly Bean\)](#)

- [HP Chrome OS – HP Chromebook または Chromebox でユーザー補助機能をオンにする \(Chrome OS\)](#)
- [HP のショップ – HP 製品の周辺機器](#)

HP 製品のユーザー サポート機能の他に追加のサポートも必要な場合は、[33 ページの HP のサポート窓口へのお問い合わせ](#)を参照してください。

追加の支援を提供できる外部のパートナーやサプライヤーへのリンクは以下のとおりです。

- [Microsoft のアクセシビリティ情報 \(Windows 7、Windows 8、Windows 10、Microsoft Office\)](#)
- [Google ユーザー補助機能 \(Android、Chrome、Google アプリ\)](#)
- [お困りの種類別に分類された支援技術 \(英語版\)](#)
- [製品別に分類された支援技術 \(英語版\)](#)
- [支援技術ベンダーと製品の説明 \(英語版\)](#)
- [ATIA \(Assistive Technology Industry Association\) \(英語版\)](#)

標準および法令

標準

FAR (Federal Acquisition Regulation : 連邦調達規則) に言及されている Rehabilitation Act の 508 条は、US Access Board によって、身体、知覚、または認知の障がいがある方が情報通信技術 (ICT) にアクセスできることを明記するために策定されました。この標準には、対象製品の機能に重点を置いた性能ベースの要件に加えて、各種テクノロジーに固有の技術基準が含まれています。固有の基準は、ソフトウェアアプリケーションおよびオペレーティングシステム、Web ベースの情報およびアプリケーション、コンピューター、電気通信関連の製品、動画やマルチメディアおよび独立式の閉鎖型製品を対象とします。

Mandate 376 – EN 301 549 (欧州連合同向け)

The EN 301 549 standard was created by the European Union within Mandate 376 as the basis for an online toolkit for public procurement of ICT products. The standard specifies the functional accessibility requirements applicable to ICT products and services, together with a description of the test procedures and evaluation methodology for each accessibility requirement.

WCAG (Web Content Accessibility Guidelines)

W3C の WAI (Web Accessibility Initiative) によって公開された WCAG (Web Content Accessibility Guidelines) は、Web の設計者や開発者が、お身体の不自由な方やご年配の方のニーズに合ったサイトを作成するために役立ちます。WCAG は、さまざまな Web コンテンツ (テキスト、画像、オーディオ、動画) および Web アプリケーションによってユーザー サポートを向上させるガイドラインです。WCAG は厳密にテストでき、理解や使用が容易で、Web 開発者が新しい発想を取り入れられるように柔軟性を持たせています。WCAG 2.0 は、[ISO/IEC 40500:2012](#) としても承認されました。

WCAG では特に、視覚、聴覚、身体、認知、神経の障がいがある方やサポートを必要とするご年配の Web ユーザーが Web 利用時に直面する障壁に対応しています。WCAG 2.0 にはお身体の不自由な方も利用しやすいコンテンツの特徴が明記されています。

- **知覚可能**（画像のテキストによる代替、オーディオのキャプション、提供方法への適応性、色のコントラストなど）
- **操作可能**（キーボード操作、色のコントラスト、タイミング調整、発作の防止、ナビゲーション可能）
- **理解可能**（読みやすさ、予測可能性、入力支援など）
- **堅牢性**（支援技術との互換性など）


法令および規制

IT および情報のユーザー サポートは、法的な重要性が高まりつつある分野になってきました。以下に示す各リンクから、主要な法令、規制、および標準に関する情報を確認できます（英語のみ）。

- [United States（米国向け）](#)
- [Canada（カナダ向け）](#)
- [Europe（欧州向け）](#)
- [United Kingdom（英国向け）](#)
- [Australia（オーストラリア向け）](#)
- [全世界](#)

ユーザー サポートに関する役立つリソースおよびリンク

以下の組織から、障がいや年齢による身体的制限に関する適切な情報を得られる場合があります。

 **注記：**この一覧に記載されている組織がすべてではありません。これらの組織は、情報提供のみを目的として記載されています。インターネットで確認された情報または連絡先について HP は一切の責任を負わないものとします。このページの一覧は、HP による推奨を示すものではありません。

組織（英語のみ）

- AAPD（American Association of People with Disabilities）
- ATAP（Association of Assistive Technology Act Programs）
- HLAA（Hearing Loss Association of America）
- ITTATC（Information Technology Technical Assistance and Training Center）
- Lighthouse International
- National Association of the Deaf
- National Federation of the Blind
- RESNA（Rehabilitation Engineering & Assistive Technology Society of North America）
- TDI（Telecommunications for the Deaf and Hard of Hearing, Inc.）
- W3C WAI（Web Accessibility Initiative）

教育機関（英語のみ）

- カリフォルニア州立大学ノースリッジ校、Center on Disabilities
- ウィスコンシン大学マディソン校、Trace Center
- ミネソタ大学、Computer Accommodations Program

障がいに関するその他のリソース（英語のみ）

- ADA（Americans with Disabilities Act）Technical Assistance Program
- ILO Global Business and Disability Network
- EnableMart
- European Disability Forum（欧州障害フォーラム）
- Job Accommodation Network
- Microsoft Enable

HP のリンク

[お問い合わせの Web フォーム（英語サイト）](#)

[HP の『快適に使用していただくために』（言語を選択してください）](#)

[HP の公的機関への販売（米国向け）](#)

HP のサポート窓口へのお問い合わせ

このガイドで提供されている情報で問題に対処できない場合は、HP のサポート窓口にお問い合わせください。日本でのお問い合わせ先またはサポートについては、<http://www.hp.com/jp/contact/> または <https://support.hp.com/jp-ja/> にアクセスしてください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。説明に沿ってお使いの製品を探します。